

平成26年度 第4回鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成26年11月11日(火) 13:30～14:45
- 場 所 鳥取環境大学本部棟3階 大会議室
- 出席者 高橋一委員、三野徹委員、小林槇太郎委員、岡田昭明委員、富岡庄一委員、岡崎誠委員、今井正和委員、田中勝委員、千葉雄二委員、木下法広委員、田中仁成委員、常田禮孝委員、中島廣光委員
[13名/15名]
- 欠席者 角紀代恵委員、山本仁志委員

【議事】

- 1 前回議事要旨の確認
原案のとおり了承。
- 2 審議事項
 - (1) 大学名称の変更にかかる学則の一部改正について
資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
- 3 報告事項
 - (1) 近況報告
資料に基づき報告があった。
主な意見等は次のとおり。
○国際交流に関して、派遣学生の選抜方法と費用負担はどうなっているか。
→今回は希望者が多かったので、面接試験と学業成績を参考に選考委員会を開催し選抜した。
費用については、渡航費の一部補助を行っている。
 - (2) 平成26年度補正予算(第2回)について
資料に基づき報告があった。
 - (3) 平成27年度予算編成方針について
資料に基づき報告があった。
 - (4) 公立大学法人鳥取環境大学公益通報に関する規程の制定について
資料に基づき報告があった。
 - (5) 鳥取環境大学コンプライアンス基本方針の改正について
資料に基づき報告があった。
 - (6) 入試実施状況
資料に基づき報告があったほか、願書受付中の推薦入試の応募状況について説明があった。
 - (7) 新研究科設置に向けた検討状況について
資料に基づき報告があった。
 - (8) 関西サテライトオフィスの設置について

資料に基づき報告があった。

○資料中の関東の求人企業開拓も業務として記載があるが、関東も対象範囲となるのか。

→公立化後は関東からの学生も増えているため、出口となる就職先の確保も課題となっている。メインは関西・中京だが、関東まで守備範囲にと考えている。